

第3回 学校運営協議会

令和6年12月17日（火）
午後1時30分から

次 第

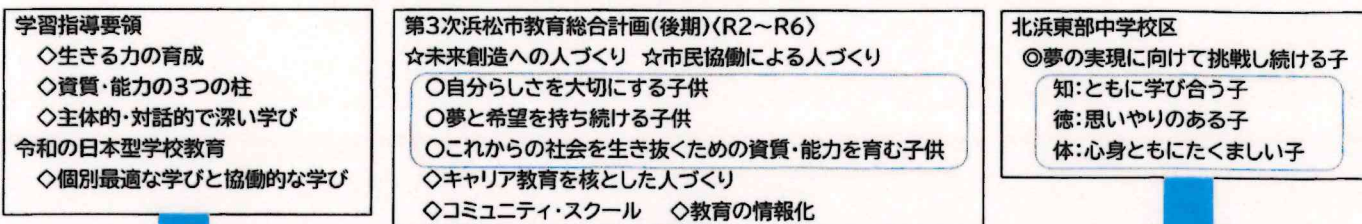
進行：教務主任

- 1 開会の言葉……………（司 会）
- 2 開催要件の確認……………（司 会）
- 3 副会長挨拶……………（倉橋副会長）
- 4 校長挨拶……………（花井校長）
- 5 議長選出
- 6 前回までの会議録等の確認……………（CS ディレクター）
- 7 報告
 - （1）令和6年度全国学力学習状況調査結果……………（教務主任）
 - （2）前期学校評価の結果と考察……………（教務主任）
 - （3）地域ふれあい活動……………（教 頭）
 - （4）東っ子のびのび応援隊……………（教 頭）
 - （5）いじめに関する報告（別紙）……………（教 頭）
- 8 熟議

子供たちの姿は、学校教育目標（グランドデザイン）に示す理想の姿にどれだけ近づいているか。また、3学期に意識して取り組むとよいことは何か。

※ 報告（1）～（5）を受けて
- 9 事務連絡
- 10 閉会の言葉

令和6年度 浜松市立北浜東小学校 グランドデザイン



児童の実態と課題

- 明るく素直で子供らしい ○人や物に優しく思いやりがある ○やるべきことに真摯に取り組める
 △自己表現・考えを伝えることが苦手

記念碑の言葉

向上無限

学校教育目標

目標に向かって 自ら学び続ける子

【知】表現する子

- ◇課題を見通し、自分なりの表現で、相手に思いや考えを伝える。

■ 学習中、自分の意見や考えを積極的に発言したり話し合ったりしている。(80%)

【徳】自他を認め、大切にする子

- ◇互いの個性を認め合い、優しく接する。
 ◇相手の顔を見て、あいさつや返事をする。

■ 思いやりや優しさをもって、周囲の人に接することができる。(90%)

【体】心身ともに元気な子

- ◇日常的に運動し、目標をもって健康な体づくりをする。
 ◇目標に向かって、しなやかに取り組む。

■ 新しいことに挑戦したり、粘り強く取り組んだりできる。(80%)

キャリア教育で育てたい4つの態度・能力

- | | | | |
|--------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------------------|
| ①とつながる力
他者理解・他者への働きかけ | ②自分を高める力
自己の役割の理解 | ③戦する力
情報の理解・選択・処理 | ④夢に向かう力
学ぶこと・働くことの意義や役割・多様性の理解 |
|--------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------------------|

【笑楽校】=「学校が楽しい」と笑顔で登校する学校

めざす学校像

- 子供たちがそれぞれのよさが発揮できる学校
 ○だれもが心身の安全が保障され、安心して生活できる学校
 ○子供たちの姿で、保護者や地域に信頼される学校

めざす教職員像

- 人間味にあふれ、子供のよさや思いを大切にする教職員
 ○磨き合い支え合う、同僚性をもった教職員

R6の重点取組

【知】○自己表現をテーマとした研修

- ICTを活用した授業実践
 ○基礎基本の徹底と読書の推進
 ○表現の場としての学年団集会

【徳】○心の日の設定(SGE・SST)

- 縦割り活動・あいさつ運動の推進
 ○いじめ防止対策の徹底

【体】○自己目標設定(短期・長期)と振り返りの時間の設定・充実

- 持久走がんばり週間の強化・充実
 ○「自分の命を守る」多様な訓練の実施

根幹となる発達支援教育の理念

- 一人一人を大切にしたい指導 誰も取り残さない温かな支援 互いを尊重し合う、様々な価値や多様性の理解

コミュニティ・スクール ○育てたい力の共有 ○地域ふれあい活動の充実 ○学校支援ボランティアの拡充

PTA

地域の方々・団体

ボランティア

(図書・読み聞かせ・登下校旗振り等)

各種分野の専門家

(外部講師)

【報告】

- (1) 令和6年度全国学力学習状況調査結果
- (2) 前期学校評価アンケートの結果と考察
- (3) 地域ふれあい活動
- (4) 東っ子のびのび応援隊
- (5) いじめに関する報告

【熟議】

東っ子の姿は、学校教育目標（グランドデザイン）に示す理想の姿にどれだけ近づいているか。また、今後意識して取り組むとよいことは何か。

<協議のねらい>

(1)～(3)の報告と、これまで実際に見ていただいた子供の姿からグランドデザインに示す理想の姿にどの程度近づいているかを考えることを通して、3学期に意識して取り組むことを明らかにする。また、来年度のグランドデザインをつくる参考にする。

<手順>

- ① 報告と実際に見てきた子供の姿をグランドデザインに照らし合わせ、知・徳・体それぞれの達成度について□%達成、理由 を付箋に書く。（付箋1枚に1内容）
- ② 台紙に、最初の方が簡単に説明しながら付箋を貼る。理由も含め全く同じ内容の付箋をお持ちの方は、その時に貼る。
- ③ 参加者全員が順番に付箋を貼り、見出しを付けてまとめる。
- ④ 3学期以降学校として意識して取り組むこと、家庭に呼び掛けること、学校運営協議会としてできることを考える。

※付箋の色 知—青、徳—黄、体—赤

1 項目に 1 枚



学校教育目標

目標に向かって 自ら学び続ける子

浜松市立北浜東小学校 学校だより 特別編 令和6年10月 全校児童225人

令和6年度 全国学力・学習状況調査 学習状況分析と対策

学習も運動も最も充実する時期になりました。子供たちは、それぞれの目標を掲げながら活気に満ちた学校生活を送っています。

さて、このほど6年生が4月に行った全国学力・学習状況調査の結果が届きました。調査の結果の概要をまとめましたのでお知らせします。



○ 教科について

全国や県の平均正答率と比較したところ、国語科、算数科共に若干下回る結果となりました。今回の結果を踏まえるとともに、新学習指導要領では、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「子供一人一人の発達をどのように支援するか」「何が身に付いたか」「実施するために何が必要か」の視点が大切だとされています。

今回の学力調査の分析を以下に示します。子供たちにとって実りある指導ができるよう、今後も授業改善を進めていきます。御家庭でも御支援のほどよろしくお願いします。

< 国語科 >

問題の概要、趣旨 (全体)	正答率 (%)		
	本校 66	静岡県 67	全国 67.7
◎ 特に全国に比べて平均正答率が高い設問			
人物像を具体的に想像することができる。	81.1	70.6	72.5
目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。	70.3	64.2	63.8
登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。	73.0	66.2	66.9

△ 特に全国に比べて平均正答率が低い設問			
目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	43.2	57.5	56.6
話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。	67.6	75.6	75.9
人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。	64.9	69.7	72.6

☆ 今後の授業改善策

- ・ 目的に応じて書く活動を意図的に展開していく。
- ・ 様々なジャンルの本に親しむ。
- ・ 物語文の学習では、ねらいをもって初読の感想、まとめの感想を書く活動を意図的に展開していく。

< 算数科 >

問題の概要、趣旨 (全体)	正答率 (%)		
	本校 61	静岡県 62	全国 63.4
◎ 特に全国に比べて平均正答率が高い設問			
直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解している。	78.4	67.5	71.3
除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解している。	75.7	67.3	69.1
円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる。	86.5	80.6	80.8
△ 特に全国に比べて平均正答率が低い設問			
示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できる。	32.4	47.7	49.3
速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる。	56.8	68.6	70.0
速さの意味について理解している。	45.9	50.9	54.1

☆ 今後の授業改善策

- ・ 速さ、時間、距離の関係についての理解を深め、練習問題に取り組む。
- ・ 示された情報を正確に読み取ることができるように、問題文や図、表から分かる情報を整理する場を設ける。
- ・ 式が示す意味を説明する場を設ける。

< 質問紙 >

問題の概要、趣旨	「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答率（％）		
	本校	静岡県	全国
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100.0	96.7	96.7
友達関係に満足していますか。	100.0	91.8	91.1
学校に行くのは楽しいと思いますか。	97.4	86.5	84.8
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	63.2	70.0	71.1
将来の夢や目標を持っていますか。	79.0	83.2	82.4
人が困っているときは、進んで助けていますか。	86.8	93.1	92.7

☆ 考察と改善点

学校に行くのを楽しんでいると感じていたり、友達関係が良好だったり、いじめについても真剣に捉えていることが分かり、とても嬉しく思います。

一方で、ついつい情報端末を使い過ぎてしまう傾向があることや、思春期の子供たちによく見られる傾向ではあるのですが、正しい行いとは分かっているにもかかわらず行動として消極的になってしまう子もいることが明らかになりました。

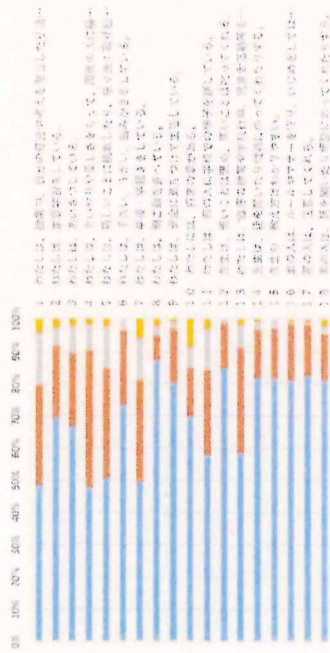
実りの2学期です。最高学年ならではの活動が目白押しです。将来の夢や興味のある職業については、今年度も総合的な学習の時間を通して将来に対するビジョンを広げていきたいと考えています。そして一つ一つの活動を通し、達成感や充実感を積み重ねることで少しずつ自己肯定感が高まるように指導していきます。

これから小学校卒業とともに、中学校進学に向けて様々な準備が本格化してきます。読書に親しんだり、学習に集中して取り組んだりすることができる環境を整えられるよう、御家庭でも御協力をお願いします。

担当 教務主任（菅沼）
電話 586-3319

令和6年度 浜松市立北浜東小学校 前期 学校評価

令和6年度 学校に関するアンケート 児童 前期



● 大変満足 ● 満足 ● どちらでもない ● 不満 ● 大変不満

令和6年度 学校に関するアンケート 職員 前期



● 大変満足 ● 満足 ● どちらでもない ● 不満 ● 大変不満

○ 考察

- 1 について
「自分の思いを自分なりの表現で相手に伝える」という視点で取り組んでいます。今後、積極的に学習する場をさらに設定していくことで、児童が自己表現することや話し合うことが楽しいと感じる学習に取り組めます。
- 4 について
周囲を思いやれる子供たちが増えてきたように感じられます。引き続き、他者の良さに気づき、認める取り組みを一層推進します。
- 5 について
学年が一つ上がり、子供たちなりに新しいことに挑戦していったことが少しずつ自信につながっているように感じます。励ましたり、見守ったりして過程を重視した支援をします。
- その他
自分自身の成長を実感している子供たちが増えているようです。今後さらに授業改善等を工夫して子供たちの自信につなげていきたいと考えています。保護者の皆様からも協力的な温かい御意見を多数いただきました。今後さらに連携を深め、協力体制を整えていきます。また行事看板の位置について御意見がありました。公共の安全面を考慮して今後検討していきたいと考えています。

令和6年度 学校に関するアンケート 保護者 前期



● 大変満足 ● 満足 ● どちらでもない ● 不満 ● 大変不満

○ 結果 R5後期の割合 → R6前期の割合

「1 学習中、自分の意見や考えを積極的に発言したり話し合ったりしている。目標80%」

児童	76.4%	→	79.5%
保護者	65.8%	→	70.5%
職員	100%	→	86.7%

「4 思いやりや優しさをもって、周囲の人に接することができる。目標90%」

児童	80.0%	→	90.2%
保護者	92.6%	→	95.9%
職員	100%	→	86.7%

「5 新しいことに挑戦したり、粘り強く取り組んだりできる。目標80%」

児童	81.4%	→	84.7%
保護者	68.5%	→	70.5%
職員	68.8%	→	46.7%

【地域ふれあい活動】 今年度の実績

地域ふれあい活動保護者…………… 6人 参観者を除く

地域ふれあい活動昔遊び講師…………… 44人

地域ふれあい活動しめ縄講師…………… 40人

質 問 内 容	1～3年	4～6年
楽しかった どちらかといえば楽しかった	98%	95.9%
地域の人と話したり、地域の人に 教えてもらったりすることができた どちらかといえばできた	98%	95.5%
来年度も地域の人と関わる活動 をしたい どちらかといえばしたい	100%	92.8%

質 問 内 容	地域の方
楽しかった どちらかといえば楽しかった	100%
子供たちと話したり、作り方を教え たりすることができた どちらかといえばできた	100%
来年も協力したい	100%

<子供のアンケート結果より>

昔遊び

- ・おもちゃの遊び方や作り方を教えてもらって楽しかった。
- ・めんこのやり方を教えてもらったから、最初よりもできるようになってうれしかった。また来年も地域ふれあい活動をやりたい。
- ・輪ゴム鉄砲を作ることは難しかったけれど、出来上がってやってみたらとても楽しかった。
- ・おじさんと紙飛行機を作れて、飛ばせて、楽しかった。
- ・折り紙を教えてくれたり、紙相撲を教えてくれたりして楽しかった。

しめ縄づくり

- ・しめ縄をつくるのは、難しかったけれど、地域の方が優しく教えてくれたので、うまく作ることができました。来年も地域ふれあい活動が楽しみです。来年は今年よりも多く作りたいです。
- ・優しく教えてくれたり、たくさん褒めてくれたりして楽しかった。地域の方とふれあう機会が少ないので、ふれあうことができてよかった。
- ・しめ縄づくりは、難しくてうまくできなかったけれど、話したり教えてもらったりして楽しかった。来年もまたしめ縄づくりをやりたい。
- ・みんな丁寧に優しく教えてくれてとてもいい思い出になった。地域の人たちとふれあことができ、普段しめ縄をつくることはないから、とても貴重な体験になり、楽しかった。
- ・今年は初めてでうまく作れなかったけれど、来年は上手に作れるようにがんばりたい。

<地域の方のアンケート結果より>

- ・ 少人数のグループに指導することができ、ボランティアの人数が十分対応できて楽しかった。各自しめ縄づくりを楽しんでくれてよかった。
- ・ 素直な子供たちで教えがいがありました。来年も楽しく交流したいと思います。
- ・ 楽しかったです。

<職員のアンケート結果より>

- ・ 本校児童の課題に対する取り組みの一つでもある点大きい。昔を知り、楽しむことはもちろんだが、何より、昔遊びやしめ縄づくりを通して行われる「地域の方々とふれあい」が大事であると考えている。この場での出会いやコミュニケーションを大切にして、子供たちに付けたい力の育成の一助としたい。
- ・ 地域の方とのふれあい、日本の伝統文化についてふれるよい機会だ。
- ・ 地域とのつながりや地域の皆様のやりがいを高めることができる。
- ・ 地域の人と関わる場が少なくなっていると思うので、子供たちも教えてもらって嬉しそうだった。また、家が近いなどといった〇〇君と呼ばれている姿もよかった。このような活動が、子供たちも地域の人たちにいつも見守っていただいていると感じることができ、保護者もよさがわかんと思う。
- ・ ボランティアが少なくなっている地域については、他の地域と合体するなど実施方法の検討は今後必要になってくると思うが、地域の人と関わることのよさを十分感じることができたので、つづけるとよい。



【東っ子のびのび応援隊】 R6 に活動して下さった方

読み聞かせ(全学年).....	8人 月2
図書修繕等.....	8人 月1
草取り.....	11人 必要な時
家庭科.....	4人 実習時
図工.....	11人 刃物を使う時
校外学習見守り.....	15人 (1, 2, 3 年)
話&遊び&バドミントン.....	9人 木曜日昼休み
いもきんとんづくり	12人 (2 年)

<成果>

・保護者の来校を子供が喜んでいて、図書ボランティアがある日には、図書室を見に行ったり、遊びランドがあるときには、友達を誘って参加したりする姿が見られる。保護者も張り切って活動して下さるし、子供にも保護者が自分たちのために整備してくださっていることが浸透する。

・保護者が校外学習に同行して下さると安全を確保しやすい。また、活動範囲や内容を広げることができる。

・家庭科や図工などで刃物を使うときに、ボランティアさんが参加して下さると、けがのリスクが減り、安心して活動に取り組むことができる。

・地域の方にも保護者の方にも学校の様子を知っていただくことができ、会話をするときの共通の話題になった。地域の方からも保護者の方からも子供と関わってうれしい、癒される、できることに協力したいという話をいただいている。

<課題>

・担当が出張などで留守になってしまうと、ボランティアさんの対応が手薄になってしまう。システム化をして、担当が不在でも問題なく運営できるようにしていきたい。

(1) いじめの認知件数（今年度の認知人数をカウント）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
認知件数	8	15	27	23	12	5	90
認知人数	5	12	16	16	8	4	61

(4) 現在の状況（今年度の認知人数でカウント）

解消状況	今年度	前年度より「継続」
認知人数	61	22
①解消 (3か月以上)	39	22
(3か月未満)	4	0
④その他 (継続等)	0	0
事実なし	2	0
個別報告件数	3	2
警察へ相談・通告	0	0

(2) いじめ発見のきっかけ（今年度の認知人数でカウント）

区分	件数
学校教職員等	
A 学級担任が発見	0
B 学級担任以外の職員が発見（養護教諭・SC等を除く）	0
C 養護教諭が発見	0
D SC等の相談員が発見	0
E アンケート調査など学校の取組により発見	56
教職員以外からの情報	
F 本人からの訴え	2
G 当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	3
H 児童生徒（本人を除く）からの情報	0
I 保護者（本人の保護者を除く）からの情報	0
J 地域の住民からの情報	0
K 学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0
L その他（匿名による投書など）	0
合 計	61

(3) いじめの態様（複数回答可）

区分	件数
1 冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われた	35
2 仲間はずれ、集団による無視をされる	22
3 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	26
4 ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	0
5 金品をたかられる	0
6 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	4
7 いやなことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	1
8 パソコンや携帯電話で、誹謗・中傷や嫌なことをされる	2
9 その他	0
合 計	195

(5) いじめる児童生徒への特別な対応（複数回答可）

区分	件数
1 SC等の相談員がカウンセリングを行った	0
2 校長、教頭が指導した	0
3 別室で授業等を行った ※	0
4 年度途中に学級替えをした	0
5 勸奨・申出による転学	0
6 出席停止（学校教育法に基づく措置）	0
7 訓告（懲戒処分として明示して行ったもの）	3
8 保護者への報告	36
9 いじめられた児童生徒、保護者に対する謝罪の指導	57
10 警察等の刑事司法機関等との連携	0
11 児童相談所等の福祉機関等との連携	0
12 病院等の医療機関等との連携	0
13 その他の専門的な関係機関等との連携	0
14 地域の人材や団体等との連携	0
合 計	96

(6) いじめられた児童生徒の相談の状況（複数回答可）

区分	件数
1 学級担任に相談した	90
2 学級担任以外の教職員に相談した	11
3 養護教諭に相談した	4
4 SC等の相談員に相談した	5
5 学校以外の相談機関に相談した（電話相談やメール等を含む）	1
6 保護者や家族等に相談した	41
7 友人に相談した	3
8 その他の人（地域の人など）に相談した	0
9 誰にも相談していない	0
合 計	155

(7) いじめられた児童生徒への特別な対応（複数回答可）

区分	件数
1 SC等の相談員が継続的にカウンセリングを行った	1
2 別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した	0
3 緊急避難としての欠席させた	0
4 学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	0
5 年度途中に学級替えをした	0
6 当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した	0
7 児童相談所等の関係機関と連携して対応した	0
合 計	1

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

＜本年度の目標＞

- ・地域ふれあい活動（学校開催2年次）において、地域や保護者が参画することで、社会に開かれた教育課程の実現を具現化し、北浜東小学校の児童をみんなで育てていこうとする意識を持つ。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長の示した経営構想の中で、「学校評価」のアンケートから児童の姿が明らかになってきた。それをもとに目指す子供像が設定され、その実現を図るために学校・家庭・地域の3者が協同して教育活動を進めていくことを確認した。委員の中から、学校運営についての率直な意見も出され、基本方針について承認した。
- ・校長より、経営書を用いて学校運営に関する基本的な方針について説明があり、それに基づいて、各委員で熟議することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校の教育活動を充実させるために、地域とのつながりを進め、地域の人材を生かした活動を進めることを確認した。そのために、昨年も実施した「地域ふれあい活動」を計画・実践し、より充実していくことを確認した。また、授業を充実させるために学習支援ボランティアをこれまで以上に募ることも確認した。
- ・メール、CSだより、学級委員から他の保護者への呼びかけなど、様々な支援活動への協力要請の方法について熟議した。ただ、本年はインフルエンザの影響もあり、十分とは言えなかった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・協議内容については「学校だより」等で家庭・地域に伝えた。また、「CSだより」で、学習支援を募り、ボランティアの確保と同時に、学校の方針を地域に知らせることができたのではないかと考えている。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・特に第2回学校運営協議会において、各委員から本校の児童たちの課題や今後育てたい力について熟議を行い、次年度に向けての取組の重点がある程度明確になってきたように思う。（例 コミュニケーション能力を育てる場を増やしていく）
- ・いじめ問題については、継続して観察していくことが必要である。

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(北浜東小)学校運営協議会

<本年度の目標>

周りの人とのふれあいを通して、自己肯定感を高め、自己表現できる子に育てるとともに、他者の思いも大切にできる子に育てるために学校運営協議会としてできることを探る。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)